

2025年度事業報告

自 2025年4月1日
至 2026年3月31日

当協会は、第13回定時総会において、施工管理事業、品質管理事業、広報事業を骨格とする2025年度の事業計画と約6,000万円(断熱特別会計を含む)の予算を決定し、これに基づき以下の事業を実施したので報告する。

新たな技術図書の検討、既存建築物における屋根ふき材の耐風診断・耐風補強技術評価に関する研究への協力などを行ったほか、折板屋根の新たな屋根 30分耐火構造認定取得に向けた作業を進めた。また、引き続き金属屋根・外壁に関連する各種技術情報を積極的に公開した。

1. 組織運営

(1) 会議

事業計画の円滑な執行を図るため、次の会議並びに委員会を運営した。

表1 会議・委員会

会議・委員会	所管事項
正副会長会議	事業及び予算執行に関する事項
審査委員会	技術審査の問題作成、可否の判定に関する事項
技術委員会	技術の向上及び技術サービスに関する事項

表2 会議・委員会開催経過

総会	第13回:5月27日
理事會	第34回:5月27日、第35回:1月14日
賀詞交歓會	1月14日
正副会長會議	5月13日、8月27日、11月5日、2月25日
審査委員会	1月28日
技術委員会	4月22日、5月29日、6月26日、7月30日、9月3日、9月25日、10月29日 11月11日、11月17日、11月26日、12月3日、12月15日、1月9日、1月28日 2月26日、3月24日

(2) 会員の異動状況

2026年3月末における会員の異動状況は表3の通り。

表3 会員移動状況 (2025年3月末からの異動状況)

会員区分	期首	増加数	減少数	3月末
正会員	250	8	14	244
特別正会員	104	2	1	105
特別会員	6	1	1	6
賛助会員	35	1	1	35
合計	395	12	17	390

(3) 役員補選

第13回定時総会で役員補選を行った。理事の新任・退任は表4の通り。

表4 理事の退任・新任

理事	新任		退任	
	吉倉裕幸	ヨシクラシートメタル(株)	浅井康扶	浅井板金工業(株)
赤川政男	(株)赤川板金	千葉重治	(有)千葉板金工業	
吉村優紀	南九州金属工業(株)	吉村千鶴子	南九州金属工業(株)	
檜垣一馬	(株)おがわ	越智善朗	(株)おがわ	
澤田慶一	JFE北日建材(株)	高橋誠一郎	JFE北日建材(株)	
伊藤孝栄	飛鳥工業(株)	原耕三	三和建材工業(株)	
		村田利道	北海鋼機(株)	

2. 安全対策事業

機関誌に以下の労務並びに安全関係記事を掲載した。

6月号:職場における熱中症対策の強化について

令和7年6月1日から厚生労働省により施行された内容を記載

3. 調査研究事業

(1) 社会保険加入促進に関する周知活動の実施

社会保険の加入促進に向け、会員企業等からの問い合わせに対応した。

(2) 若年労働者育成に関する調査等

① 中央職業能力開発協会への中央技能検定委員の派遣

建築板金(内外装板金作業)の中央技能検定委員として白砂実技術委員(三晃金属工業)、宮腰事務局次長を派遣した。

(3) 建設キャリアアップシステム(CCUS) 能力評価における金属屋根工事技士

金属屋根工事技士は建設キャリアアップシステムにおける能力評価基準(建築板金)において、「レベル3」の保有資格の一つとして位置付けられている。

能力評価基準【建築板金】 国土交通省

呼 称		建築板金技能者
能力評価実施団体		(一社) 日本建築板金協会
CCUS職種コード		39板金工-01板金工
レベル4	就業日数	10年(2150日)
	保有資格	<ul style="list-style-type: none"> ●登録建築板金基幹技能者(00021) ●優秀施工者国土交通大臣顕彰(建設マスター)(91013) ●1級建築施工管理技士(30007) ●卓越した技能者(現代の名工)(94058) ◇レベル2、3の基準に示す保有資格【必須】
	職長経験	3年(645日)
レベル3	就業日数	7年(1505日)
	保有資格	<ul style="list-style-type: none"> ●1級建築板金技能士(10301,10311) ●2級建築施工管理技士(30008) ●青年優秀施工者土地・建設産業局長顕彰(93013) ●金属屋根工事技士(33078) ◇職長・安全衛生責任者教育【必須】(60001,60011) ◇レベル2の基準に示す保有資格【必須】
	職長・班長経験	1年(215日)
レベル2	就業日数	3年(645日)
	保有資格	<ul style="list-style-type: none"> ◇アーク溶接特別教育【必須】(50003) ◇玉掛け技能講習【必須】(40040) ◇高所作業車運転技能講習【必須】(40039)
レベル1		建設キャリアアップシステムに技能者登録され、かつ、レベル2から4までの判定を受けていない技能者

※ ◇印の保有資格は、必須。 ●印の保有資格は、いずれかの保有で可。

(4) 特定技能外国人の受入れについて

① 会員在籍証明書の発行

特定技能外国人を受け入れようとする企業は、JAC(建設技能人材機構)の賛助会員もしくは JAC に加入した団体の会員である必要がある。このため、特定技能外国人の受け入れを計画している当協会の会員からの要請により、会員在籍証明書を発行した。3月末までの発行数は累計で73件。

(5) 金属屋根等に関する統計調査の実施

2023年度における金属屋根、粘土瓦、厚形スレート、化粧スレート、波形スレートの出荷量、並びに金属屋根・外壁素材の出荷量に関する調査を行った。調査結果については、ホームページに12月22日に公表した。機関誌「施工と管理」26年1月にも掲載。

表 5 各種屋根材の出荷動向・面積比較(単位:千㎡)

年度	金属	セメント瓦	波形スレート	粘土瓦	化粧スレート	合計	金属比率
2000	72,603	9,713	10,200	76,218	31,234	199,968	36.3%
2001	71,261	8,317	8,230	72,046	28,161	188,015	37.9%
2002	66,920	7,562	7,088	69,844	24,110	175,524	38.1%
2003	67,125	7,530	6,718	68,280	25,748	175,401	38.3%
2004	70,142	4,999	7,332	58,892	22,183	163,548	42.9%
2005	82,881	7,149	5,646	57,353	22,711	175,740	47.2%
2006	83,573	6,395	4,698	55,521	20,465	170,652	49.0%
2007	69,836	4,136	3,890	44,372	18,788	141,022	49.5%
2008	54,661	1,941	3,061	38,957	17,078	115,698	47.2%
2009	44,687	2,148	2,176	38,186	15,525	102,722	43.5%
2010	48,663	2,137	2,281	32,588	16,202	101,871	47.8%
2011	51,774	956	2,252	34,123	16,713	105,818	48.9%
2012	55,135	1,125	2,136	33,572	16,975	108,943	50.6%
2013	57,918	1,039	1,716	31,197	17,582	109,452	52.9%
2014	64,009	734	1,586	28,413	16,799	111,541	57.4%
2015	55,468	548	1,684	24,813	15,844	98,357	56.4%
2016	66,309	607	1,506	22,528	16,197	107,147	61.9%
2017	66,655	599	1,384	19,410	15,667	103,715	64.3%
2018	61,073	790	1,698	19,384	15,658	98,603	61.9%
2019	56,624	835	1,416	18,488	15,876	93,239	60.7%
2020	50,228	1,321	1,032	16,924	13,222	82,727	60.7%
2021	50,065	1,158	851	15,625	12,617	80,316	62.3%
2022	44,781	1,144	839	14,326	12,142	73,232	61.1%
2023	45,194	1,080	643	11,390	11,126	69,433	65.1%

*金属屋根材、波形スレート、粘土瓦の面積は換算値。換算値は当協会の推計。

4. 審査事業

(1) 金属屋根工事技士技術審査

2025年12月6日(土)に札幌、仙台、東京、大阪、福岡の5会場で実施した。合否の判定は1月28日開催の審査委員で行い、3月上旬に受験者に通知。

表 6 金属屋根工事技士技術審査

地区	会場	申込者数	受験者数	合格者数・率(%)	
札幌	北海道自治会館	7	7	7	100.0
仙台	宮城県建設会館	3	3	3	100.0
東京	鉄鋼会館	16	14	13	92.9
大阪	科学技術センタ	26	25	23	92.0
福岡	朝日ビル	23	18	11	61.1
合計		75	67	57	85.1

5. 施工管理事業

(1) 金属屋根工事技士「資格更新講習会」の開催

2025年度の「資格更新講習会」の開催は、面着での講習とオンラインの2タイプで開催する。資格者以外を対象とした金属屋根講座も開催する。受講申込みは2月2日～2月27日。

面着講習は、東京(3月7日)・大阪(3月14日)に実施 参加者 :19名
 オンラインは、3月2日～31日 いつでも視聴可 視聴講習者:232名

講習内容

今年度は、「改修の手引き」の解説を中心とした講習とします。

近年需要が増えている「改修工事」について、改修の考え方・改修カバー工法の選択・設計・契約の段階から完成・引渡しに至るまでを解説

6. 品質管理事業

(1) 新しい技術資料に関する検討

技術委員会では2026年2月に『屋根改修工事の手引き・第2版』を発刊した。

(2) 計算ソフト『屋根を調べる 2025』の作成

『屋根を調べる 2025』を作成する。2025年版での改正点は以下の通り。

#『屋根を調べる 2024』での寄棟の屋根勾配入力欄及び縦ぶきの働き幅について修正した。

本ソフトの内容は以下の通り。

- ①風圧力算定ソフト ②積雪荷重算定ソフト ③屋根性能計算ソフト ④工事管理報告書作成ソフト
 ⑤風荷重関連基準解説書(PDF) ⑥屋根ふき材の構造計算解説書(PDF)

屋根性能計算ソフトでは、以下の計算を行うことができる。

表7 屋根性能計算ソフト内容

耐風強度計算	耐積雪強度計算	性能確認計算
折板強度(連続梁)	折板強度(連続梁)	熱貫流率計算
折板強度(単純梁)	折板強度(単純梁)	断熱性能計算(日射吸収)
折板強度(軒先)	折板強度(軒先)	断熱性能計算(放射冷却)
接合部材・接合部耐風強度	接合部材積雪強度	結露計算
タイトフレーム溶接強度	雪止め金具取付間隔	室内温度上昇計算
パラペット下地強度	母屋・垂木強度	屋根材の熱伸縮量計算
雨とい取付金具強度	野地板強度	透過損失計算
母屋・垂木強度		騒音伝達計算
野地板強度		といの排水量計算
ファスナー取付強度		軒先流層高さ計算
横葺き吊子の引抜強度		
縦葺きの耐風強度(SSR07 ベース)		
横葺きの耐風強度(SSR07 ベース)		

(3) 国交省『建築工事標準仕様書』の改定への対応

仕様書・第 13 章「屋根及びとい工事」における金属屋根に係る箇所の改定作業に技術委員会が対応している。改定版は令和 7 年度版として発行される予定。

(4) 金属屋根に関する技術情報の提供

会員内外を含めて、金属屋根・外壁の設計・施工にかかわる問合せが増加していることなどに対応するため、機関誌並びにホームページに以下の事項を掲載した。

① 機関誌公表分

- * 既存建築物の屋根ふき材の耐風診断・耐風補強評価マニュアル案
- * 吊り折板の接合部強度検討と反力について

② ホームページ公表分

- * 「FP030RF-9325」及び「FP030RF-9326」に於ける梁の耐火被覆の記述について
- * 「木下地(野地板に直接留め付け)」における「かん合形立平ぶき」の圧力箱試験
- * 屋根及び外壁の改修に関する建築基準法上の取り扱いについて
- * 石綿障害予防規則
- * 建物物等の解体等における石綿の飛散防止対策
- * 鋼板製屋根構法標準における折板屋根の設計体系と建築基準法上の位置づけ
- * 計算ソフト「屋根を調べる」にまつわるあれこれ

(5) 『風と金属屋根・第 3 版』『LLM2017』、『MSRW2014』、『SSW2011』並びに『SSR2007』の普及

会員等からの内容に関する問い合わせに事務局、技術委員会が対応した。

7. 断熱事業

(1) 運 営

事業の円滑な執行を図るため、断熱亜鉛鉄板委員会内部に幹事会、技術分科会を設け活動を行っている。分科会はリモート+リアル開催で実施した。幹事会は書面配信方式あるいはリモート+リアル開催にて検討。

また、ID 取得講習会・大臣認定説明会は WEB 配信にて検討。

表 8 幹事会・分科会等の開催状況

	総会	幹事会	技術分科会	ID 講習、入会審査
4 月			4 日	
5 月	27 日			
6 月			12 日	
7 月			17 日	
8 月			25 日	
9 月			19 日	
10 月			21 日	
11 月			20 日	
12 月			18 日	
1 月			19 日	
2 月			17 日	21 日から 3 か月間
3 月			19 日	

今年度中の委員会・会員の異動状況は以下の通り。

表9 委員会・会員異動状況

会員区分	期首	増加	減少	3月末
正会員	83	0	0	83
賛助会員	12	0	0	12
合計	95	0	0	95

(2) 耐火構造認定の取得

① 耐火認定範囲の拡大(試験を伴わない認定)について

全9件の耐火認定範囲の拡大案件について、3月時点で2件(金物種類の追加)の手続きを終了した。残り7件(主に裏張り材種類の追加)について来年度中の申請および審査を目指す。

(3) 認定書発行管理体制の整備

① 大臣認定書発行管理システムの開発と運用

大臣認定書の発行と管理を、平成21年4月1日より電子媒体で行っている。新認定が増えるごとにシステムに追加して運用している。

② 認定書の発行業務

委員会の発行する認定書は、従来認定(5件)と二重折板認定(9件)を各々合本として発行し、追加認定(16件)は認定ごと個々に発行している。総計で30件の認定を管理している。

2025年4月～2026年3月末までの認定書発行数は、84件(昨年同期件数△15件)であった。

(4) 広報活動

会員企業を対象に認定内容並びに大臣認定書(写し)の発行管理体制の周知に努めた。協会の機関誌(施工と管理)、建築専門誌(日経アーキテクチャ)等を通じた広報活動も行った。

① 認定内容の説明会並びにID取得講習会

5年前までは会員企業を対象に、二重折板認定・従来認定・追加認定の内容について説明会を全国6会場で開催していたが、2020年度はコロナ禍の影響でリアル実施を断念した。2021年度～2024年度はWEB配信で行った。

今年度は昨年度に引き続きWEB配信(動画100分程度)で実施し、受講期間を従来の1か月間から約3か月間へと延長した。動画視聴後に配布(参考)資料にアクセス並びに・プリントできるよう準備を進めている。

② ホームページの更新

会員名簿の修正を実施した。

③ 日経アーキテクチュア(日経BP社)への広告掲載

同誌2025年10月号・別冊特集『美しい屋根2025』に委員会が取得している大臣認定一覧と認定書(写し)の発行管理を紹介した。

(5) 品質の維持・向上

一般ユーザーおよび会員からの防火・耐火認定の形状・寸法・材質などの品質に関する各種問い合わせに対応した。

(6) その他

①FP030RF-9325, 9326 について立体駐車場業界(当会会員外)による誤使用に関する web ニュース(日経ビジネス電子版)の誤報道について、報道対応し記事を訂正した。

②他団体との交流

委員会は、断熱亜鉛鉄板に関する各種情報を得ることを目的に、主に次の団体と交流している。

- ・防火材料等関係団体協議会
- ・防火工法推進協議会

8. 広報事業

(1) 機関誌「金属屋根 施工と管理」の発行

機関誌の発行に際しては、その充実に努めている。機関誌は会員のほか官公庁・設計事務所・総合工事業者等にも送付している。

2024 年度の特集記事は次の通りである。

表 10 機関誌特集記事

号	タイトル	執筆者等
'25年4月号	25年度の国内建設マーケット予想を探る分野問わず積極的投資	国土交通省総合政策局
5月号	既存建築物の屋根ふき材の耐風診断・耐風補強評価マニュアル①	国土技術政策総合研究所
6月号	同上 ②	国土技術政策総合研究所
7-8月号	同上 ③	国土技術政策総合研究所
9月号	吊り折板の接合部強度検討と反力について	技術委員会/事務局
10月号	既存建築物の屋根ふき材の耐風診断・耐風補強評価マニュアル④	国土技術政策総合研究所
11月号	「下請法」は「取適法」へ中小受託取引適正化法ガイドブック ①	公正取引委員会中小企業庁
12月号	「下請法」は「取適法」へ中小受託取引適正化法ガイドブック ②	公正取引委員会中小企業庁
'26年1月号	金属屋根における遮熱断熱塗料に関する研究	日本大学大学院生産工学研究科
2月号	猛暑や寒冷・多雪地域における自然的要因における不稼働期間に即した1年単位の変形労働時間制のポイント	厚生労働省 都道府県労働局 労働基準監督署
3月号	「屋根改修工事の手引き」発刊紹介	技術委員会/事務局

(2) ホームページの運営

協会ホームページは、2002年2月1日より正式に公開している。2024年度は、1ヶ月に1回程度のペースで更新を行った。ホームページの主な内容と更新状況は以下の通り。

表 11 ホームページ

主な内容と更新状況	新たにアップしたページ
① トップページ…掲載写真を更新	
② 金属屋根素材の解説…従来通り	
③ 主な金属屋根の製品紹介…従来通り	
④ 環境配慮型屋根…従来通り	
⑤ 屋根ふき材の構造計算…従来通り	
⑥ テクニカルレポート…技術リポートを追加	6-1. 屋根及び外壁改修に関する建築 基準法上の取り扱い
⑦ スレート屋根改修のご提案…従来通り	6-2. 石綿障害予防規則
⑧ 講習会・試験のお知らせ…随時見直し	6-3. 鋼板製屋根構法標準における折板 屋根の設計体系と建築基準法の位置づけ
⑨ 金属屋根工事技士制度の紹介…従来通り	
⑩ 工事管理報告書…従来通り	
⑪ 出版物案内…紹介図書の追加、修正。	
⑫ 統計…内容更新	
⑬ 施工写真集…従来通り	
⑭ 用語集…従来通り	
⑮ あの屋根・この屋根…従来通り	
⑯ 銅屋根クロニクル…記事を追加	
⑰ 会員名簿…随時見直し	
⑱ 協会の情報公開…2025年度の内容に更新	

(3) 建築系工業高校への広報活動

2007年9月号より金属屋根に対する理解促進等を図るため、全国の建築系学科を有する工業高校への機関誌の配布を行っている。

(4) 書籍等の頒布

以下の書籍等について会員及び一般向けに頒布を行った。

- ① 初めて学ぶ・もう一度学ぶ 金属の屋根と外壁 LLM2017
- ② 鋼板製屋根・外壁の設計・施工・保全の手引き MSRW2014
- ③ 計算ソフト「屋根を調べる」
- ④ 金属屋根の施工と管理－改訂4版－
- ⑤ 鋼板製外壁構法標準 SSW2011
- ⑥ 鋼板製屋根構法標準 SSR2007
- ⑦ 風と金属屋根－第3
- ⑧ 屋根改修工事の手引き－第2版

9. その他

(1) 建設マスター・ジュニアマスターの推薦

建設産業の第一線で「ものづくり」に直接従事している方の中から、特に優秀な技能、技術を持ち、後進の指導・育成等に多大な貢献をしている方を国土交通大臣が顕彰する優秀施工者(建設マスター)と技術・技能が優秀であり、将来一層の活躍が期待される方を不動産・建設経済局長が顕彰する青年優秀施工者(建設ジュニアマスター)の推薦を行った。

2025年度は以下の方が受章した。協会としての受章者は建設マスターが81名、ジュニアマスターが20名となった。

【マスター】

伊藤正二	アイ・ルーフワーク(株)	愛媛県
長 克則	(株)長 板金	福島県
出口 豊	(株)出口板金工業	大阪府

【ジュニア】

渡辺剛史	株剛板	香川県
八木田和弘	(有)八木田建築板金	北海道

以 上